



<資料1>

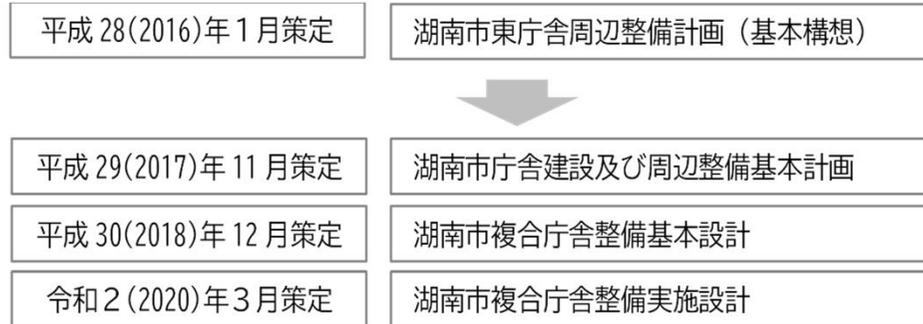
【東庁舎のあり方】  
市民ワークショップ開催の趣旨について

---



## 新庁舎整備の経過 <令和6年度(昨年度)まで>

### ●新庁舎新築建替え方針決定までの経緯



<令和2年6月>

新型コロナウイルス感染症対策優先のため、整備を一旦見送り

#### 庁舎整備は社会情勢の変化に対応

- ・ 情報技術の進展、DX化
- ・ 地球環境への配慮
- ・ 人口減少に伴う財政規模の縮小の懸念
- ・ 小規模多機能自治の推進

#### 早急な庁舎整備が必要

南海トラフ地震等の災害への備え

庁舎に必要な機能を吟味し、  
全面建替えだけでなく、現庁舎の耐震補強と増築による庁舎整備も視野に入れ、  
より効果的、経済的な整備方法について再考

### R4 東庁舎耐震診断(3次)

**IS値0.22**

倒壊または崩壊する危険性が高い  
参考:H27耐震診断(2次) IS値0.52

< R5~R6 庁舎整備基本計画策定 >

議会との対話

市民アンケート  
令和6年4月16日~5月10日

タウンミーティング  
令和6年7月~8月

ワークショップ(50歳未満)  
令和6年12月



<令和7年3月議会>

新築建替えに方針表明

# 湖南省庁舎整備基本計画 ＜令和7年3月策定＞

市HP公開先



## 基本計画(目次抜粋)

- 東庁舎の現状と課題
- 基本計画検討における方向性の整理
- 庁舎周辺整備の基本的な考え方
- 各施設の将来像(東西庁舎周辺)
- **東庁舎周辺整備基本計画**
  - └ **将来の旧庁舎のあり方**
- 西庁舎周辺整備の検討

湖南省庁舎整備基本計画<令和7年3月策定> P44抜粋

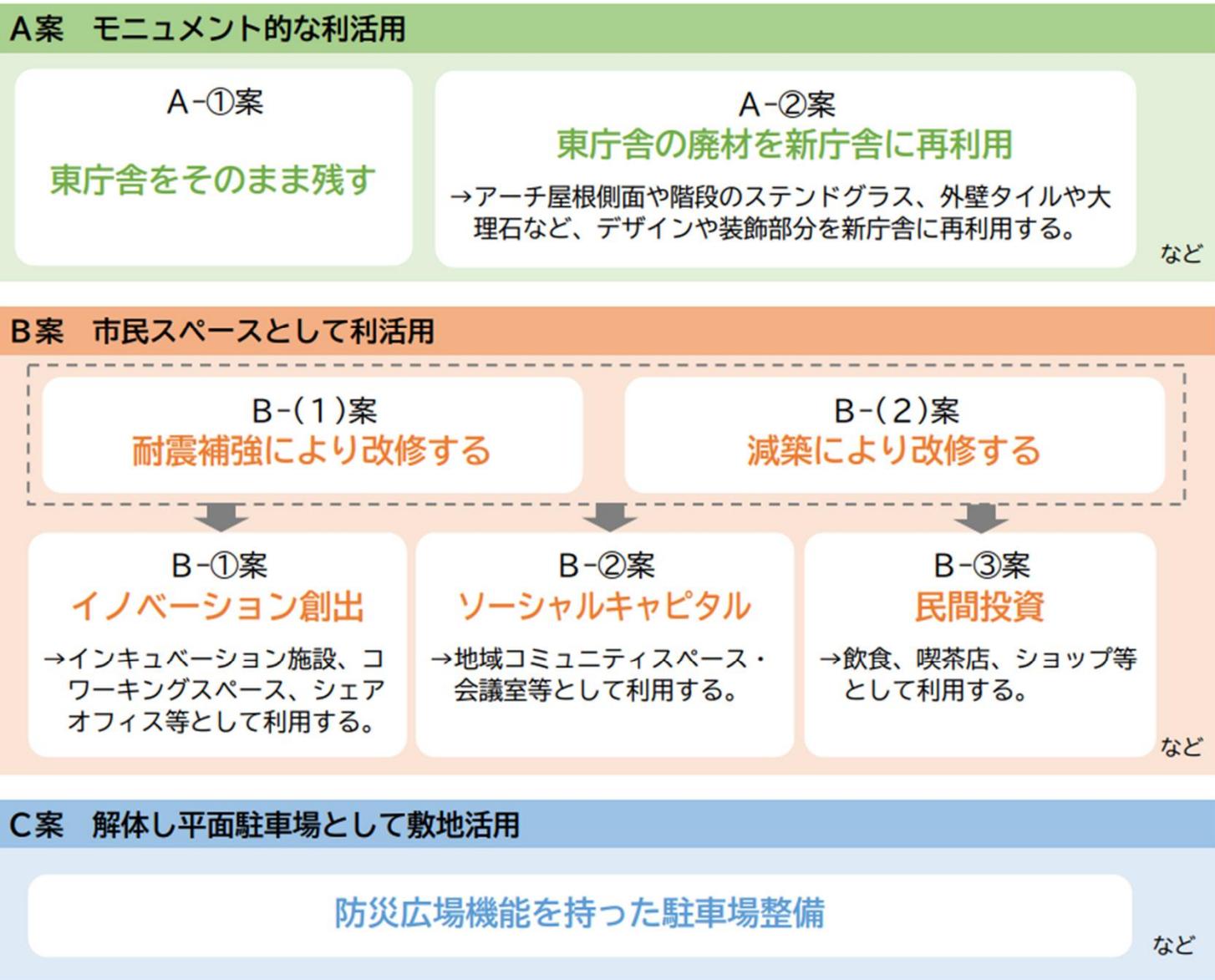
(5) 将来の旧庁舎のあり方

① 将来の旧庁舎のあり方の検討について

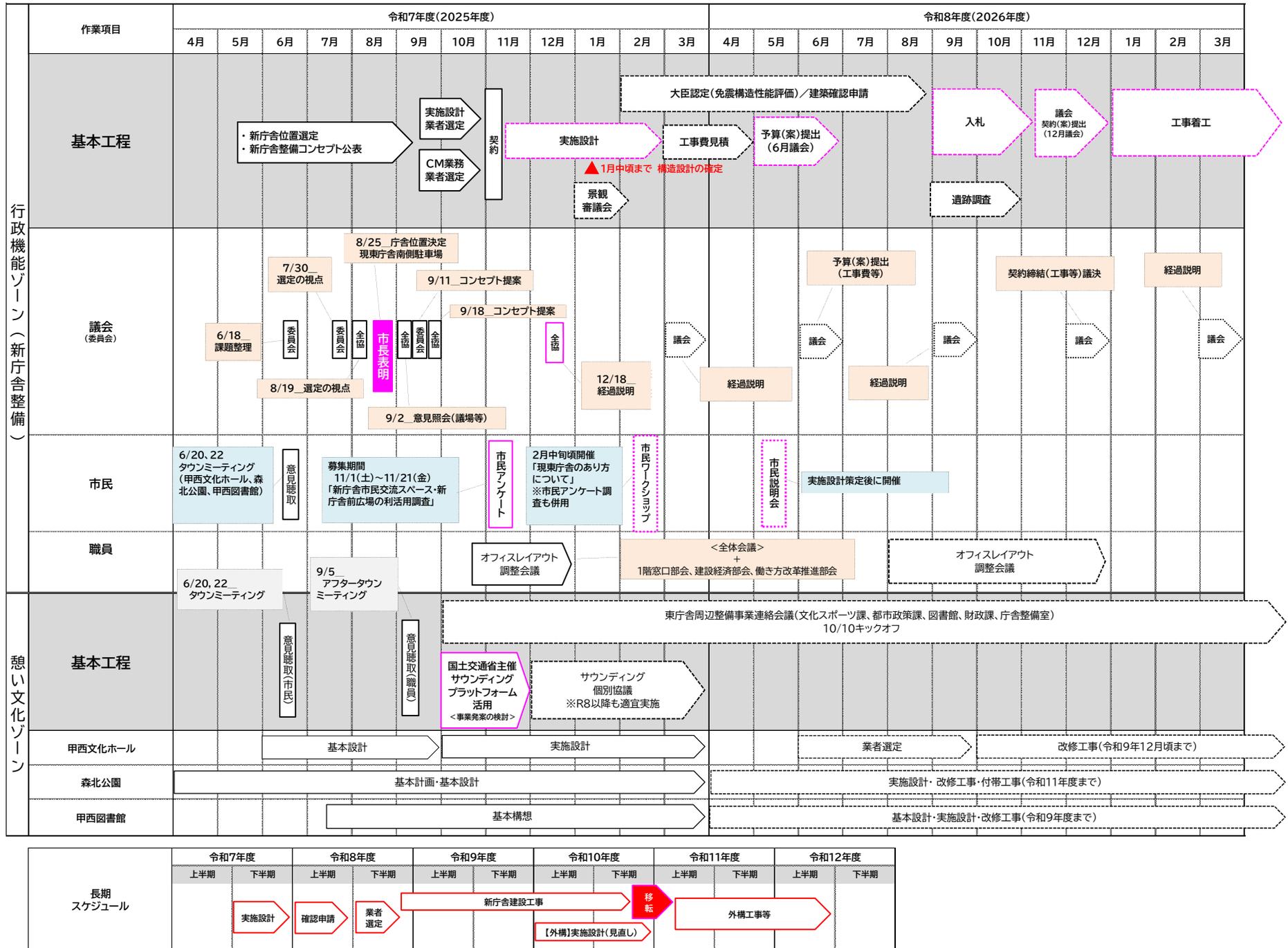
- 東庁舎は、これまで行政機能の中心として市民の日常生活を支えてきました。また、シンボリックな外観で森北公園や甲西文化ホール、甲西図書館などと一体となった景観を形成してきました。
- 東庁舎はこうして市民に親しまれてきた建築物であることから、新庁舎整備後、別の形で建物を活用していくことについて検討します。
- なお、検討にあたっては、活用することとなった場合の費用対効果を分析し、市民の意見を聴きながら進めていきます。

## 将来の旧庁舎のあり方の検討について②

### ② 将来の旧庁舎のあり方(案)



【新庁舎整備スケジュール】 令和7年12月18日議員全員協議会資料



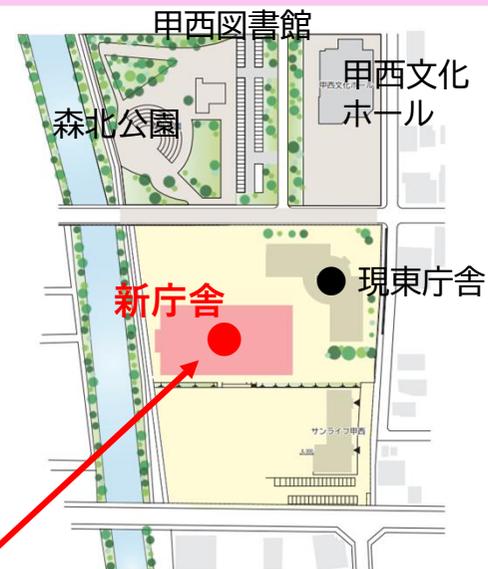
## 新庁舎整備の経過 <令和7年度(今年度)以降>

### ●市民ワークショップ(2/15)までの経緯

議会との対話

- <令和7年6月>  
新庁舎位置に関する課題整理
- <令和7年7月>  
新庁舎位置選定の視点

### 新庁舎位置(現南側駐車場)



## <令和7年9月議会> 新庁舎位置の方針表明

議会との対話

- <令和7年9月>  
新庁舎整備コンセプトの発表 ※次ページから参考資料あり

市民意見の聴取

- <令和7年11月>  
市民アンケート & 市民企画型ワークショップ【市長ゲスト参加】  
「新庁舎市民交流スペース・新庁舎前広場の利活用調査」



# 新庁舎整備コンセプト

<参考資料>

---

若い世代が、東庁舎をまちづくりの中心拠点として「湖南省の未来」を描いた意見を実現するため、新庁舎のコンセプトを提案します。

市民ワークショップ

## 庁舎整備について

### 松浦市長と語ろう

を実施しました！



開催の趣旨

湖南省庁舎整備の検討にあたり、これまで市民アンケートやタウンミーティングで市民の皆さんから多くのご意見を伺いましたが、その回答者・参加者は50歳以上の方が大半を占めていました。  
そこで、50歳未満の方のご意見にも耳を傾けるため、若い世代の方を対象に今後の庁舎のあり方や庁舎整備の方向性について市長とともに語り合う懇談会を開催しました。

日時

令和6年12月18日(水)  
19:00 ~ 21:00

場所

湖南省役所 東庁舎  
3階 大会議室

参加者

43名  
(うち Zoom での参加者3名)

### ワークショップの内容

- 庁舎整備の方法について**
  - ▶ 『新築・建替え』と『改修・増築』のどちらが良いか、メリット・デメリットを踏まえて考えを話し合いました！
- 将来の庁舎について**
  - ▶ 「こんな庁舎になったらいいな」と思うことを語り合いました！
- 市の中心拠点としての今後のあり方について**
  - ▶ 甲西駅～庁舎～甲西図書館のエリアを市の中心拠点とし、地域の活性化のために効果的な使い方のアイデアを出し合いました！
- エリアのネーミング**
  - ▶ 上記エリアに市民に親しみを持って呼んでもらえる名前をつけてもらいました！

6グループに分かれて意見交換をしました！



## 参加者の主な意見

### ■ 将来の庁舎について

- ・全ての人に利用しやすい(気軽に立ち寄りやすい・ずっといれる)場所
- ・用がなくても訪れようと思える場所、気軽に相談に来れる庁舎
- ・カフェみたいな所があると嬉しい
- ・学生が自習できる
- ・中高生が集まることのできるスペースがあるとよい
- ・若い世代と近い職員さんがいてくれる、ディスカッションができる庁舎
- ・湖南省の企業と市民をつなぐ場所
- ・高校生が電車の待ち時間に立ち寄りようと思える居場所づくり
- ・アクセスしやすい機能的な庁舎
- ・広場でだれでもイベントできる、テナントスペースでイベントがしたい
- ・子どもに優しい設備、子どもに目が届くフロアが良い
- ・子どもや子育て世代の親が集まれる場所になってほしい
- ・フリーで利用できるスペースがある
- ・市役所内で色々なイベントが行えるフリースペース
- ・フレキシブルな内装配置、使い方

### ■ 市の中心拠点としての今後のあり方について

#### — 共通 —

- ・イベント開催(マルシェ、祭り)
- ・イベント時の雨天対策として、大屋根をつくってほしい
- ・屋台村
- ・川沿いをライトアップ
- ・いろいろな形のベンチ
- ・噴水がほしい
- ・電源が引けるようにしてほしい
- ・川べりに下りて散歩できるように
- ・駐車場を広くしてほしい
- ・企業支援お試し出店

#### — 森北公園 —

- ・安全な遊具をたくさん
- ・文化ホールと公園でフェス
- ・すべて芝の広場にしたい

#### — 新庁舎 —

- ・災害時の避難拠点としてのスペース
- ・観光案内(市外の人も立ち寄る)
- ・毎日キッチンカー
- ・カフェがほしい
- ・室内で遊べる場所
- ・行政主体のイベント

#### — 甲西図書館 —

- ・より憩いの場に
- ・学習スペース(小さい頃から親しみを持てる)
- ・おしゃれな最先端の図書館
- ・カフェ
- ・お茶が飲める休憩所
- ・蔵書集約して拡張

笑顔

交流

ふれあい  
憩いの場

未来

時代の変化に対応  
フレキシブル

<新庁舎整備コンセプト>

# 自然とひとだまりができ、 交流が生まれる新庁舎

～ ひとり、ふたり...ひとが集まり、交流が生まれる ～

ふじふじ  
長靴

使いたくなる  
さーんちゅーん

ワクワク  
こぼれこぼれ

おどろおどろ  
おどろおどろ



## <テーマ1>

# 子どもの「やってみたい」と「おもいっきり」でまちを笑顔に

子どもがワクワクして思いっきり遊べるインタラクティブな場所

## <コンセプトイメージ>

新庁舎から森北公園までの一帯エリアでは、子どもがワクワクして思いっきり遊べる環境を整備します。

例えば、夏は水遊び、冬は光とミストなどで幻想的な風景を演出することなど、季節ごとに違う表情を持つ空間により、「親子のひとだまり」を創出します。

### 【若い世代の意見】

- ・ 水遊びエリア
- ・ 室内で遊べる場所
- ・ 子どもが遊んだり見学したりできる場所
- ・ 子どもが入って遊べる噴水
- ・ 子どもが過ごしやすいキッズスペース
- ・ 子どもが声を出してもよいスペースをつくる
- ・ いろんな形のベンチ
- ・ 広場に噴水があってほしい





## <テーマ2>

### 学生の探求がまちを育てる

学生がふらっと立ち寄って自習ができ、湖南省の魅力や課題に出会い探究できる居場所

#### <コンセプトイメージ>

市民交流スペースには誰もが使える机と椅子が配置され、学生がふらっと立ち寄れる「知のひとだまり」を創出します。学びの中で湖南省の魅力や課題に出会い、探究から主体的な行動が生まれていくような好循環を支えます。

#### 【若い世代の意見】

- ・ 待ち時間を有意義に使えるスペースがある(勉強・スポーツ)
- ・ 学習スペース(小さい頃から親しみをもてる)
- ・ 学生が自習できる
- ・ 高校から徒歩圏内なので、たまり場になるようなスペース
- ・ 中高生が集まることができるスペースがあるとよい
- ・ 高校生が電車の待ち時間に立ち寄ろうと思える居場所づくり





## <テーマ3>

### 市民の活動スペースが生み出す日常の余韻

忙しい日常にほっと一息つける大切な時間を新庁舎で過ごしたいと思える空間

#### <コンセプトイメージ>

市民と職員のまちづくりの対話空間を設置。掲示板で提示された市政のテーマに対して、市民が自由にアイデアを伝えることで、職員とのフラットなやりとりから生まれる多様なヒントは、まちづくりの財産になります。

乳幼児を持つ子育て世代のための調乳スペース、キッズブロックで子どもが遊べるコーナーを設置することで、気分転換に安心して子どもを連れて出かけられるママ・パパの居場所と、世代間の新たな出会いが生まれます。

飲食店や福祉作業所による日替わりのカフェ・物販、市内企業による自社商品の紹介や職場情報の発信など、多様な主体が入れ替わりながら参加することで、人材のマッチングや地域資源の発信が自然に生まれる場をつくります。市民がヒト・モノの魅力に触れ、応援し、関わることで、地域の価値を育み、共に創造する拠点となります。

#### 【若い世代の意見】

- ・ 湖南市の企業と市民をつなぐ場所
- ・ おしゃれなカフェみたいな場所があるとうれしい(おしゃべりしてもいい雰囲気)
- ・ 仕事やコミュニティが作れる場所になってほしい
- ・ 誰もが必要とし、実現できる場所
- ・ 子どもや子育て世代の親が集まれる場所になってほしい
- ・ 子どもが安心して遊べるような広場があれば、ママ友も集まりやすいし、情報交換ができる
- ・ ディスカッションができる庁舎
- ・ 交流スペース
- ・ 窓口相談以外で行く目的がある
- ・ 企業支援お試し出店
- ・ やってみたいを応援エリア
- ・ フリーで利用できるスペースがある





## <テーマ4>

# 非日常のなかの市民活動の舞台

市民が誇る活動の舞台と文化ゾーンが一体となった大規模な空間

## <コンセプトイメージ>

新庁舎の玄関周りには大屋根と庇(ひさし)の設置や、開閉式シェードなど天候や季節に対応できる設備も検討します。天候を問わず快適に利用できるスペースとして、セレモニーや市民活動の発表、駐車スペースを利用したキッチンカーやイベントブースの設置をイメージします。また、新庁舎と森北公園等の一体利用によって、湖南省にしかできない市民が誇れる舞台を演出します。

### 【若い世代の意見】

- ・ イベントの開催(週末マルシェ、祭り)
- ・ 市民が遊びに来れるようなスポットに
- ・ イベント時の雨天対策として大屋根やテントの設置
- ・ 屋内イベントができる ・ ランドマークを作る
- ・ 電源が引けるようにしてほしい ・ キッチンカー
- ・ だれでもイベントができるスペース
- ・ 庁舎と文化ゾーンのつながり
- ・ 駅から近いので、市外から遊びにきてくれると嬉しい
- ・ イベントが開催できる庁舎がよい





## <テーマ5>

# 自然と歩きたくなる周辺歩道

楽しみながら自然と歩きたくなる歩行者ファーストの空間設計

### <コンセプトイメージ>

来庁者が自然と歩きたくなるような、庁舎周辺は歩行者ファーストの空間を創出します。市民が手入れする四季折々の花木は視覚や香りで楽しませてくれます。また、歩道にはカラー舗装や距離表示、駐車場には緑地を取り入れる工夫をすることで、庁舎周辺を健康的に歩くことができる景観をつくります。

庁舎敷地内の通り抜け車両と歩行者との接触リスクを軽減するための検討や、目的外駐車防止のためカメラ式の駐車場を設置するなど、周辺歩道の安全を確保します。

#### 【若い世代の意見】

- ・ 庁舎周辺で安心して運動できる
- ・ 子どもに優しい駐車場
- ・ 寄りつきにくいとまず立ち寄ろうと思わないので、車での出入りのしやすさや見える景色、雰囲気も重要
- ・ 駅から行きやすいわかりやすい動線
- ・ 庁舎と公園の間の道路が危ないのでレンガ道などにして車のスピードを抑えられるようにしてほしい
- ・ アクセスしやすい ・ 歩車分離
- ・ 景観を乱さないナチュラルな外観





## <テーマ6>

### 新しい時代に対応できる可変性のある環境

「つくりすぎない」「つくり込まない」を基本としたレイアウトで、いつの時代も快適で機能的な環境

#### <コンセプトイメージ>

##### ① 市民が笑顔になれる環境づくり

中央まちづくりセンターが備えていた集会機能の空間を設け、市民活動や交流のハブとします。市民のニーズを踏まえ、大人数から少人数(10人以下)までシーンに合わせ可変性のある空間をつくります。また、市民が気兼ねなく傍聴できるようバリアフリー機能を施すことで、市民に開かれた議会を実現します。

##### ② 庁舎で働くひとが笑顔になれる職場づくり

庁舎整備基本計画の基本方針より、可変性のあるオフィス環境と多様な働き方を可能にする設備を導入し、主体的な職員の成長を支え、若い世代に働く場所として選ばれる職場環境をつくります。

#### 【若い世代の意見】

- ・フレキシブルな内装配置、使い方ができるようにしてほしい
- ・福祉の集まりが増える庁舎
- ・誰もが必要とし、実現できる場所
- ・新しい時代にあった構造にできる
- ・市民が訪れたいと思えるような明るく、これからの湖南省に希望がもてるような庁舎
- ・すべての人に利用しやすい場所
- ・職員のモチベーション
- ・時代の変化に対応可
- ・バリアフリー
- ・すべての市民に優しい庁舎



●市民ワークショップ開催前

市民意見  
の聴取

<令和8年1月15日(木)~2月8日(日)>

東庁舎！今後どうする？！市民アンケート調査

趣旨:東庁舎のあり方を検討するうえで、市民や市に関係する皆さんが大切にしている視点の整理

アンケートの設問内容

現在の東庁舎は、新庁舎建設予定地(東庁舎南側駐車場)と文化ゾーン(甲西文化ホール・甲西図書館・森北公園)の間に位置しています。

湖南省庁舎整備基本計画(令和7年3月策定)では、将来の旧庁舎(現東庁舎)のあり方について、以下の3案を検討対象としています。

- (A案)モニュメント的な利活用
- (B案)市民スペースとして利活用
- (C案)解体し平面駐車場として敷地活用

市ではこれまで、アンケートやワークショップを通して市民の皆さんや市議会との対話を積み重ねてきました。その対話をもとに、「自然とひとだまりができ、交流が生まれる新庁舎」という新庁舎整備コンセプトを掲げ、新庁舎と文化ゾーンの一体的な利活用の実現を目指しています。

これらの新庁舎周辺エリアの考え方を踏まえ、今後の旧庁舎(現東庁舎)のあり方を検討する際に、あなたが必要とする「大切な視点」は何だと考えますか？

3つまで選択してください。(その他(自由記述)は含まない。)

# 東庁舎が「ある時」「ない時」 両方の視点で 皆さん考えてみましょう！

東庁舎が  
ある時

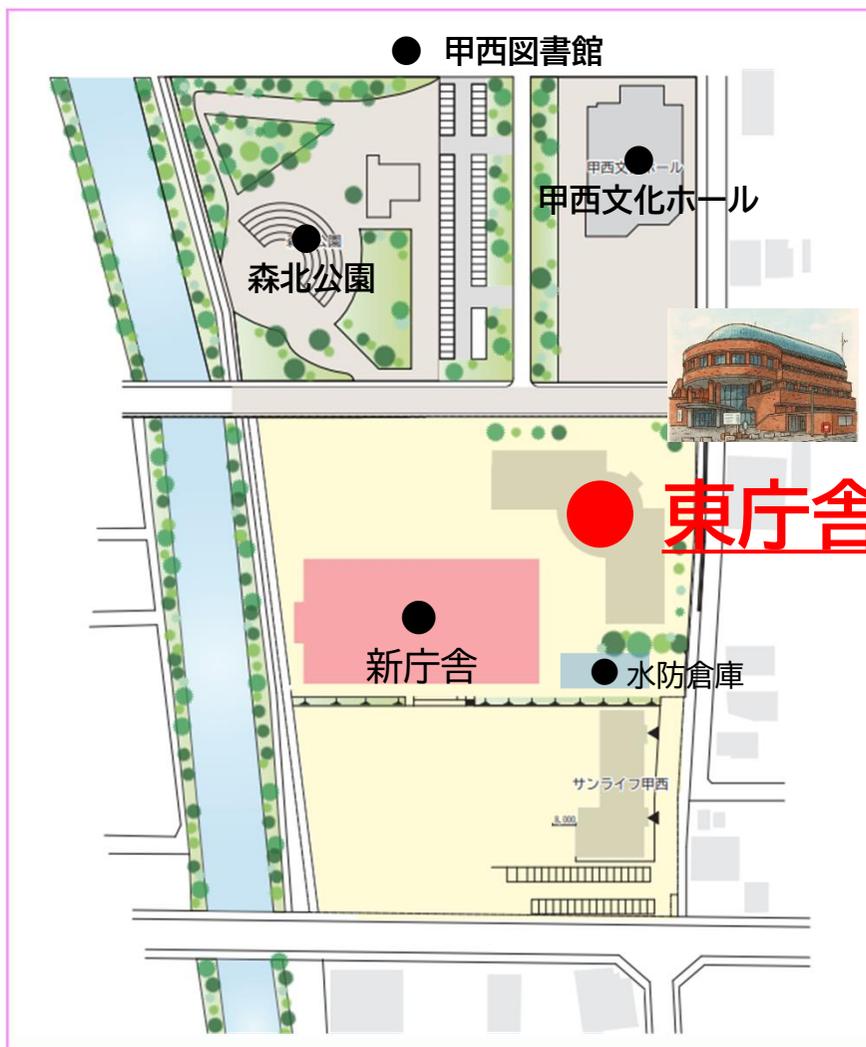


東庁舎が  
ない時

## その前に！

## 東庁舎の概要について

現在の東庁舎は、新庁舎建設予定地(東庁舎南側駐車場)と文化ゾーン(甲西文化ホール・甲西図書館・森北公園)の間に位置しています。



### 【東庁舎建物概要】

建物名称	湖南省役所東庁舎
所在地	滋賀県湖南省中央1-1
建築面積	2,145.85㎡
延床面積	5,814.39㎡
規模(階数)	地上5階、塔屋1階
構造種別	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート
<b>竣工年月</b>	<b>1978年(築48年)</b>

湖南省役所東庁舎  
 建物劣化調査報告書<2022年1月>

屋上防水、外壁、建具、内装、設備などの躯体  
 以外の部位については、経年による更新の時期  
 を経過しており全面的に更新工事の必要が  
 あります。

庁舎整備コンセプトの  
 実現を目指します！

東庁舎単体ではなく、文化ゾーンとの一体的な利活用を含めた検討が必要です。